

# 平成22年度 入間東部地区消防組合当初予算概要

平成22年度の予算案が、3月の入間東部地区消防組合定例議会で可決されました。みなさんからお預かりした税金を大切にに使わせていただきます。

## 今年度のおもな事業

- 中央消防署大井分署/1,500リットルの消火用水を積載可能な水槽付消防ポンプ自動車の更新および高度な救急要請に対応する救急車の更新
- 中央消防署三芳分署/15メートルのはしごを装備した中高層建物の火災などに対応するはしご車の更新

## 負担金の内訳

入間東部地区消防組合は、富士見市・ふじみ野市・三芳町により共同で設置されています。消防組合の収入の内、92パーセント以上が、市・町の負担金からなります。

富士見市	1,037,114千円
ふじみ野市	1,250,793千円
三芳町	518,904千円

## 消防費内訳

常備消防費（消防署など）	2,704,834千円
非常備消防費（消防団など）	163,713千円
富士見消防団費	24,163千円
富士見消防施設費	52,682千円
ふじみ野消防団費	31,214千円
ふじみ野消防施設費	18,920千円
三芳消防団費	19,567千円
三芳消防施設費	17,167千円

## 収入 30億3,067万3千円

項目	金額	割合
分担金及び負担金	2,806,811千円	92.6%
組合債	201,400千円	6.6%
繰越金	11,400千円	0.4%
寄附金	6,000千円	0.2%
使用料及び手数料	1,667千円	0.1%
財産収入	202千円	0.1%未満
その他、諸収入	3,193千円	0.1%

## 支出 30億3,067万3千円

項目	金額	割合
消防費	2,868,547千円	94.7%
公債費	142,186千円	4.7%
予備費	8,800千円	0.3%
諸支出金	6,201千円	0.2%
議会費	4,628千円	0.1%
総務費	311千円	0.1%未満

**平成22年度「防火標語」募集のお知らせ**

火災予防の喚起と防火意識の普及を図る目的で、「防火標語」を次のとおり募集します。

テーマ/住宅防火に関すること  
応募資格/富士見市・ふじみ野市・三芳町に在住の方  
応募方法/標語・郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・年齢・性別・電話番号を記入し、ハガキまたは応募用紙（消防署・分署にあります）、ファックス、Eメールのいずれかで応募してください。

応募期限/8月31日(火)必着  
入賞/最優秀賞 1点  
優秀賞 2点

※入賞者には、賞状・記念品を贈呈。最優秀賞作品は、1年間火災予防運動などのPRに広く活用させていただきます。

問合せ・送付先/入間東部地区消防組合消防本部予防課  
〒356-0052  
ふじみ野市苗間1-13-28  
☎049-261-6000  
FAX 049-261-4395  
yobo-01@irumatohbu119.jp

**入間東部地区消防組合**  
(富士見市・ふじみ野市・三芳町)

〒356-0052 富士見野市苗間1-13-28  
☎049-261-6000 FAX 049-261-4395  
ホームページ <http://www.irumatohbu119.jp/>  
Eメール [shobo@irumatohbu119.jp](mailto:shobo@irumatohbu119.jp)  
火災情報 ☎049-263-0119(テープ案内)  
救急病院の案内 ☎049-261-6000(休日・夜間)

**普通救命講習会**

とき/7月24日(土)午前9時~正午  
場所/消防本部  
対象/市内在住・在勤の方  
定員/30人  
申込み/7月12日(月)~16日(金)の午前8時30分~午後5時に電話で  
問合せ/入間東部地区消防組合消防本部救急課  
☎049-261-6673



「煙体験ハウス」の中で視界の悪さを体験 タレントの鈴木涼子さんを一日消防署長に任命

**防災キャンペーン**

住民のみなさんに防災意識を高めていただくため、ふじみ野市の大井サティとイトーヨーカ堂上福岡東店で、防災キャンペーンを実施しました。

住宅用火災警報器の設置を促し、応急手当や心肺蘇生法を体験していただきました。

**園児消防見学会**

5月27・28日の2日間、市内の消防訓練場で、富士見市・ふじみ野市・三芳町の幼稚園や保育園(所)などの幼児約2,000人を対象に「園児消防見学会」を開催しました。

火遊びや、子どもだけの花火による火災を防ぎ、幼年期からの火災予防教育を目的として行われ、今年で33回目になります。

隊員の訓練風景の見学や防火をテーマにした寸劇、消防音楽隊の演奏にあわせて童謡を歌いました。また、消防車やはしご車と一緒に記念撮影をし、楽しく防火を学びました。

**消防組合議会議員の紹介**

3月16日付けで、ふじみ野市岸川彌生議員が消防組合議会議員に選出されました。

**消防救助技術指導会**

5月19日、市内の消防訓練場で近隣10消防本部の参加により、「埼玉県第2ブロック消防救助技術指導会」が開催されました。

当日消防組合から30人の隊員が県大会に出場しました。

日ごろ鍛え抜いた消防救助技術の正確さや迅速さを競い合い、互いに知識と技術を交換することで、ますます複雑多様化する災害現場に即応する技術の習得を目的として行われました。

多くの住民のみなさんから応援をいただき、当組合の隊員は好成績を収め、県大会に進出しました。

**住宅用火災警報器設置義務化便乗犯にご注意**

最近、他県で次のような事件が発生しています。消防職員と似たような服装をした人が突然家を訪れ、「住宅用火災警報器を無償で取り付けます」と言って設置工事をして去って行きました。その後、家にあったはずの財布や家のカギが無くなっている事に気がついたというものです。

消防職員が突然訪問し、住宅用火災警報器を設置する事はありません。

また、「住宅用火災警報器の設置が義務化され、設置しない

**ライター遊びによる火災にご注意**

各地で子どものライター遊びが原因と見られる火災が発生し、幼い命が犠牲となる事故がありました。

使い捨てライターは手軽に購入できますが、保管場所には十分に注意し、子どもの手が届かない場所での保管をお願いしましょう。また、使い捨てライターはカラフルな色で子どもが興味を持ちやすく、公園などに落ちていってしまう危険があります。

**もう設置しましたか?**

不審に思ったら、ハッキリ購入を拒否してください。

住宅用火災警報器

**ライターの管理には十分に注意しましょう。**

火遊びをしている子どもを見かけたら、すぐに注意してやめさせてください。

車内に放置したライターは子どもの火遊びによる危険のほか、夏の強い日差しで車内が高温になり、爆発する危険があります。

最近では、子どもが操作しにくい機能(チャイルドレジスタンス機能)が付いたタイプもありますので、参考にしてください。